

一般社団法人日本人間工学会第2回理事会 議事録

1. 開催日時：平成21年11月13日（金） 17：30～20：00

2. 開催場所：八重洲倶楽部 第2会議室

3. 出席者：

・理事会構成員(25名・定足数13名以上)

(理事)：齊藤進(理事長・学術会議・横幹連・文科省科研費)，青木和夫(副理事長・学術会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)，阿久津正大(表彰)，大久保堯夫，垣本由紀子(財務)，加藤象二郎(編集・横幹連)，岸田孝弥，斎藤真(総務)，三林洋介，外山みどり，土屋和夫，八田一利(第2期選管) 【12名】

(理事兼支部長)：横山真太郎(北海道・第51回大会長)，北村正晴(東北)，堀江良典(国際・関東)，萩原啓(関西)，長谷川徹也(九州) 【5名】

【計：17名】

(欠席者)：酒井一博(横幹連・企業の間人工学教育のあり方検討委員長)，富田豊，中野義彦，平柳要，福田康明，吉武良治(広報・ネットワーク)，横森求(東海)，大塚彰(中国・四国) 【8名】

・アドバイザー：横井孝志(ISO/TC159国内対策委員長・人間工学研究がトランス検討委員長)，藤田祐志(人間工学技術戦略委員長)，榎原毅(ニーズ対応型人間工学展開委員長)

・幹事：大内啓子(広報・総務)

・事務局：栗田紀子，青木彩

4. 議事概要

理事17名が出席し，定款第37条により理事会が成立していることを確認した．理事長が定款第36条に従い議長となり，議事を進めた．なお，理事現在数は25名であり，理事会が成立する定足数は13名である．

【審議事項】

(1)第1号議案 一般社団法人日本人間工学会第1回理事会議事録(案)について

第1回議事録について議長より諮ったところ，全員異議なく了承され，承認された．本議事録をホームページに掲載し，議事録と配布資料を綴じた資料を，事務局が10年間保存する．

(2)第2号議案 諸規程類の整備

(2-1)第2-1号議案 一般社団法人日本人間工学会退職金規程(案)について

退職金規程(案)について議長より説明．内容に関してコメント等ある場合には，1週間以内に事務局に提出する．本質的なコメントなき場合には，理事会において了承，承認とする．なお，社会保険労務士にも内容確認を行う所存である旨報告があり，理事メンバーに社労士の紹介を募った．

(2-2)第2-2号議案 一般社団法人日本人間工学会支部規程(案)について

副理事長より，支部規程案の説明があった．本件について議長から諮ったところ，全員異議なく了承，承認された．

なお、支部の区分けについては、現状の区分けを踏襲する。ただし、支部の名称については、現状の九州支部から九州・沖縄支部に、中四国支部から中国・四国支部に改める。支部の分け方については、今後検討を行う。

(3)第3号議案 法人化積立金使途について

法人化積立金使途を、学会誌とHPで公募(10月30日締切)したが、具体的な提案はなかった。今後、使途は理事会で審議し、来年度計画に反映していくことになる旨、議長より報告があった。なお、積立金は3380万円。今年度新企画での使用が700万円。残りの2680万円が学会予算。

(4)第4号議案 第52回大会について

第52回大会長の候補が上げられた。次回理事会までにプラン等をつめる。なお、第53回大会は九州支部で開催する可能性があるという話題が出た。

(5)第5号議案 安全人間工学委員会の設立についての提案

安全人間工学委員会の設立ならびに委員長は立教大学の芳賀繁氏にお願いする旨、副理事長より説明があった。本件について議長より諮ったところ、委員会設立に関しては全員異議なく了承し、承認された。

委員会は常設委員会とし、学会としての大きな柱として位置づける。芳賀委員長には、委員会としての具体的な方針・方向性を作成してもらい、次回理事会に提出する。なお、理事会と委員会のリゾン役として、理事から委員を1名選出する。

(6)第6号議案 第51回大会学会企画シポジウム案 - 安全人間工学(仮題)について

本件について、議長より諮ったところ、全員異議なく了承し、承認された。なお、具体的な内容について、芳賀委員長に作成をお願いし、次回理事会に提出する。

また、9月に札幌で安全に関する国際セミナーが開催される。テーマの一つが「HMI問題がいかに安全に貢献するか」であるため、6月の第51回大会企画シポジウムとつなげられるようにしたいとの意見が出された。

(7)第7号議案 平成21年度公開講座について

公開講座テーマを公募したところ、企業の間人工学教育のあり方検討委員会から「日本のレビはなぜ北を向き、未来のレビは何故さわれないのか - ホームビギングと情報デザインの新機軸」と題した案が出された。本件について議長より諮ったところ、タイトルと内容紹介文について、人間工学との関わりが明確になるよう検討を要するが、この内容で公開講座を開催することについては全員異議なく了承し、承認された。開催は来年3月、平日開催。

(8)第8号議案 一般社団法人化に伴う各表彰規程 改定案について

表彰委員長より、法人化に伴う表彰規程改定案の説明があった。本件について、議長より諮ったところ、全員異議なく了承し、承認した。附則の日付を本日付けとし、最終版を副理事長と事

務局に提出する。

(9)第9号議案 協賛等の依頼について

5件の協賛等の依頼について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

【報告事項】

(1)総務報告

(1-1)会勢報告

会員数は2009年11月現在1913名(+26名)、賛助会員数39社40口(-1社、-1口)。

(1-2)科学技術振興機構「電子アーカイブ事業 Journal @rchive」の選定結果

人間工学会誌が平成21年度電子アーカイブ対象として選定された旨 総務より報告があった。1965年から昨年度までの学会誌が電子化される。今後も引き続き、J-stageによる公開を編集委員会で検討してもらいたい旨、議長より意向が示された。

(1-3)IEA Executive Restructuring Committee 委員へ小谷賢太郎氏が就任

新IEA会長のA.S.Imada氏より、IEA常任理事会を見直すに際して、JESから委員を推薦して欲しいと申し入れがあった。国際協力委員長と相談し、小谷賢太郎氏を推薦したところ、就任に至った旨、議長より報告があった。

(1-4)ILO/IEA 人間工学チェック イト・改訂版2009年11月発行

ILO/IEA 人間工学チェック イト第2版が2009年11月に出版される旨、議長から報告があった。

(2)財務報告

平成21年度上半期収支報告が財務担当理事より行われ、収入・支出ともに、予算額に対してほぼ通常通り、順調に推移している旨、財務担当理事より報告があった。

(3)第50回大会会計報告

第50回大会の収支報告があった。残額の1,047,249円について第50回大会から寄付の申し入れがあり、理事会として謝意を表した上で受け入れることとした。

(4)第51回大会準備状況報告

大会企画のシンポジウム「(仮)人間工学 - その伝統と未来 - 」と学会企画のシンポジウム「(仮)安全人間工学」の2つをメインシンポジウムとする。一般演題はポスター(ハイブリッド)式と従来型発表を実施。ポスター原稿は、指定期日までに事務局に提出すれば、事務局がポスターを作成する。また、ポスター発表では、優秀賞など10種類の賞を用意する予定との報告があった。

表彰委員長より、研究発表奨励賞の選考を行うため、ハイブリッド方式等々の詳細について後日打ち合わせをしたい旨、要請があった。

(5)担当・委員会報告

(5-1)編集委員会報告

第 45 巻 6 号の発刊日が 1,2 週間遅れる予定である旨、編集委員長より報告があった。

また、関東支部大会で発表予定の 1 演題について、「著作物利用合意に関わる確認書」が事務局に届いている旨、議長より報告があった。本件について、学会本部から回答することでよいかを議長より諮ったところ、全員異議なく了承し、承認された。なお、今後各支部において同様の事象が生じた場合も、学会本部が回答する。

(5-2)ISO / TC159 国内対策委員会活動報告

JISZ8907「人間工学 - 方向性及び運動方向通則」に関して、ISO 規格が改定されたことを受け、JIS 原案の改定を規格協会に提案したところ、採択された旨報告があった。JIS 改定の委員長は山本栄氏。

(5-3)表彰委員会報告

表彰委員会より、活動報告があった。

(5-4)人間工学専門家認定機構報告

専門家に 5 名、準専門家に 9 名を登録。会報を発行した旨、人間工学専門家認定機構長より報告があった。

また、人間中心設計推進機構 (HCD-Net) 理事長の黒須正明氏より、HCD で「人間中心設計専門家」という名称の資格制度を立ち上げたいとの申し入れがあった。本件に対し、名称に関して再検討をお願いしている。名称の最終決定は 17 日に行われる HCD 理事会においてなされるが、翌 18 日に HCD-Net と JES 間で会合を行う予定となっている。なお、HCD-Net の新専門家資格は、12 月に記者発表することになっている旨報告があった。

(5-5)コース対応型人間工学展開委員会

JES・HP 上で同委員会からのコース調査と科研費に関する Web アンケート調査を実施している。ご協力の程よろしくお願ひしたい旨、報告があった。

(5-6)人間工学研究ガイドライン検討委員会活動報告

倫理指針についてパブリックコメントを学会 HP 上で求め、それを元に修正を行った。修正版は理事メンバーには配信済み。今後は承認日と施行日を記入し、最終版を HP に掲載、学会誌には掲載のアクションを行う旨報告があった。本件について、議長より諮ったところ、全員異議なく了承し、承認された。承認日と施行日は 2009 年 11 月 13 日。なお、IEA の和訳について委員会より質問があったが、国際人間工学連合と表記するよう議長から提案が有り、了承された。

(5-7)第 2 期選挙管理委員会

10 月 24 日に代議員選挙投票用紙を発送した。現在、投票を受け付けている段階であり、11 月 17 日 (火) が投票締切り。開票は 11 月 30 日に実施。投票にご協力をよろしくお願ひしたい旨、選挙管理委員長より報告があった。

(5-8)文科省科研費担当報告

日本学術振興会に対して、科研費の時限付き分科細目の新分野候補として「人間工学」を応募した旨、議長より報告があった。

(6)支部報告

(6-1)北海道支部

11月14日に行われた北海道支部総会の報告が北海道支部長からあった。なお、北海道支部規約については、第1条「北海道地区に在住」から「北海道地区に在住・勤務」に、第3条の2は「重任」から「再任」に修正し、第3条の3は削除する旨、訂正がなされた。

(6-2)東北支部

12月19日に支部研究会を開催する。講師は芳賀繁氏。なお、支部総会の決議に関して、成立要件は設けないでよいか質問があった。本件に対して各支部長に確認したところ、全ての支部長から了承が得られた。

(6-3)関東支部

関東支部規約について、支部長と役員の任期は2年に合わせた旨報告があった。なお、12月5、6日に武蔵野大学で第39回関東支部大会を、第40回大会を平成22年12月4、5日に東海大学高輪キャンパスで西口宏美氏を大会長に行う。

(6-4)東海支部

10月10日に東海支部大会を開催し、「学生と企業の懸け橋」を東海支部企画で行った。役員任期については、来年3月の支部総会で決定する。

(6-5)関西支部

役員任期については、3月の総会時に決定する。また、見学会を10月30日に実施し、12月5日に奈良女子大の磯田則生氏を大会長として支部大会を行う。

(6-6)九州支部

支部大会を12月12日に、人類働態学会と合同で実施する。規約は、総会において決定する。

(7)その他

- ・日台科学技術交流の各種事業案内についての紹介を行った。
- ・第3回横幹連合カンファレンスの開催についての紹介を行った。

5.閉会

以上の議事を終え、20時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 21 年 11 月 13 日

議 長 齊 藤 進

議事録署名人 齋 藤 真